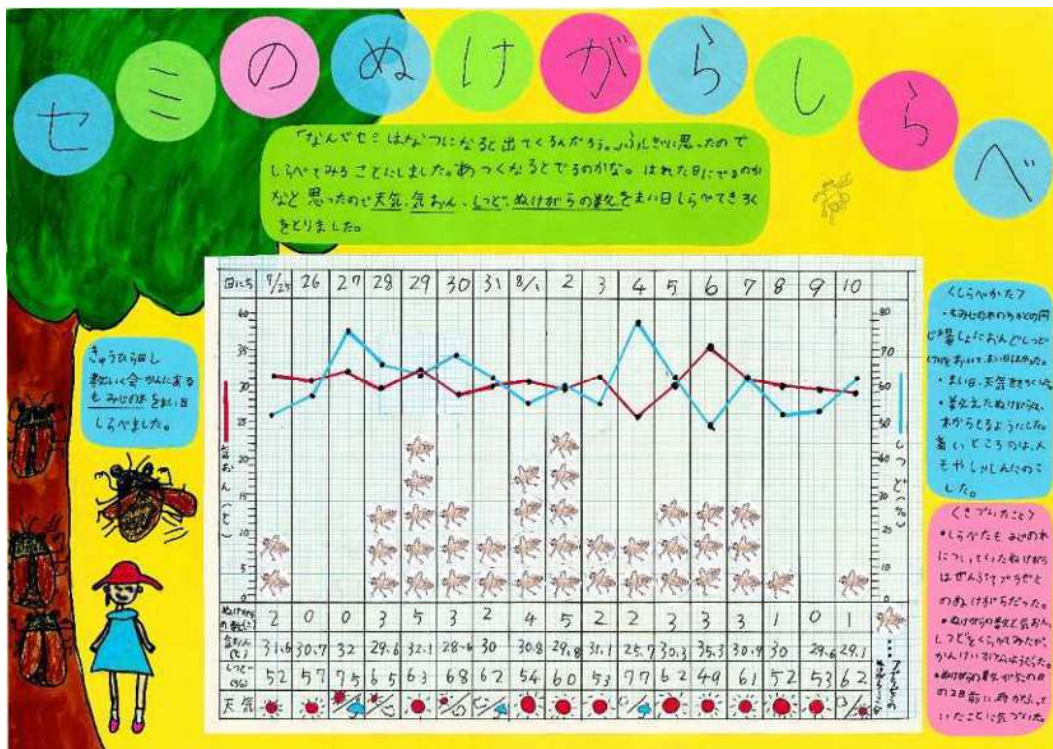


令和4年度島根県統計グラフコンクール 特選作品・講評

○第1部 特選



「セミのぬけがらしらべ」

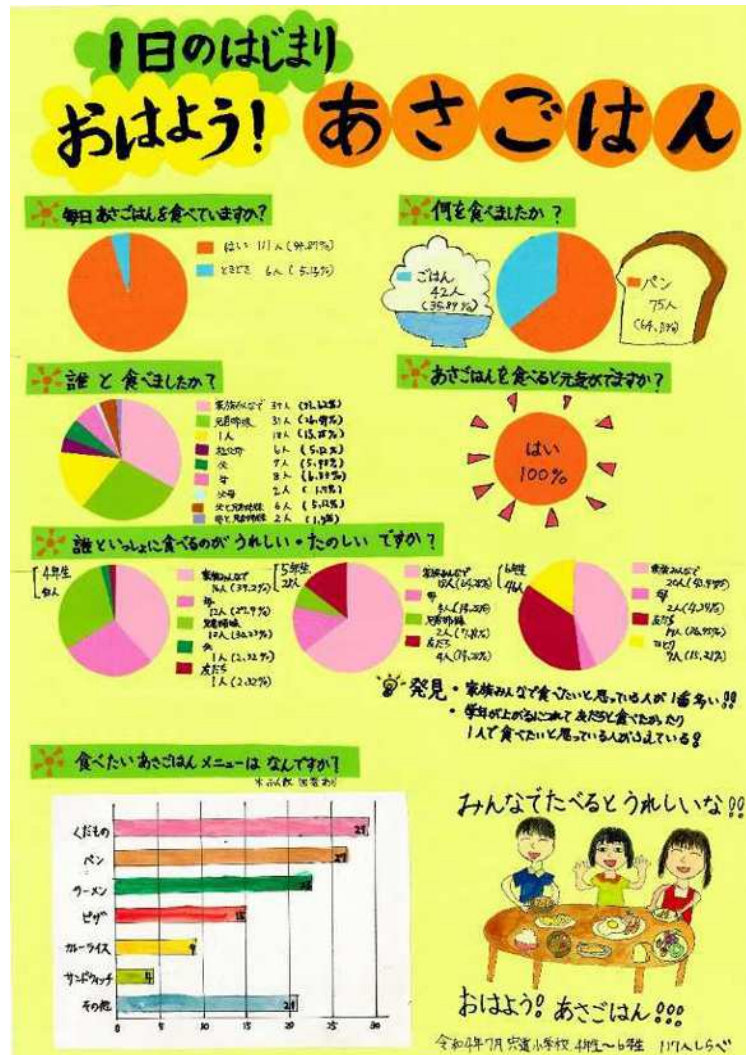
出雲市立平田小学校 2年 岸本 芽

夏になるとセミが出てくるのはなぜだろうという素朴な疑問から、天気・気温・湿度が関係するのではないかと予想して調べた作品です。

結果は、予想と違い気温などとは関係が見られなかったこと、でも、雨の日が関係しているということが素直にまとめられています。

各調査項目を1つのグラフにまとめて、とても見やすくわかりやすい作りとなっており、イラストや絵も添えて小学生らしい微笑ましい作品です。

○第2部 特選



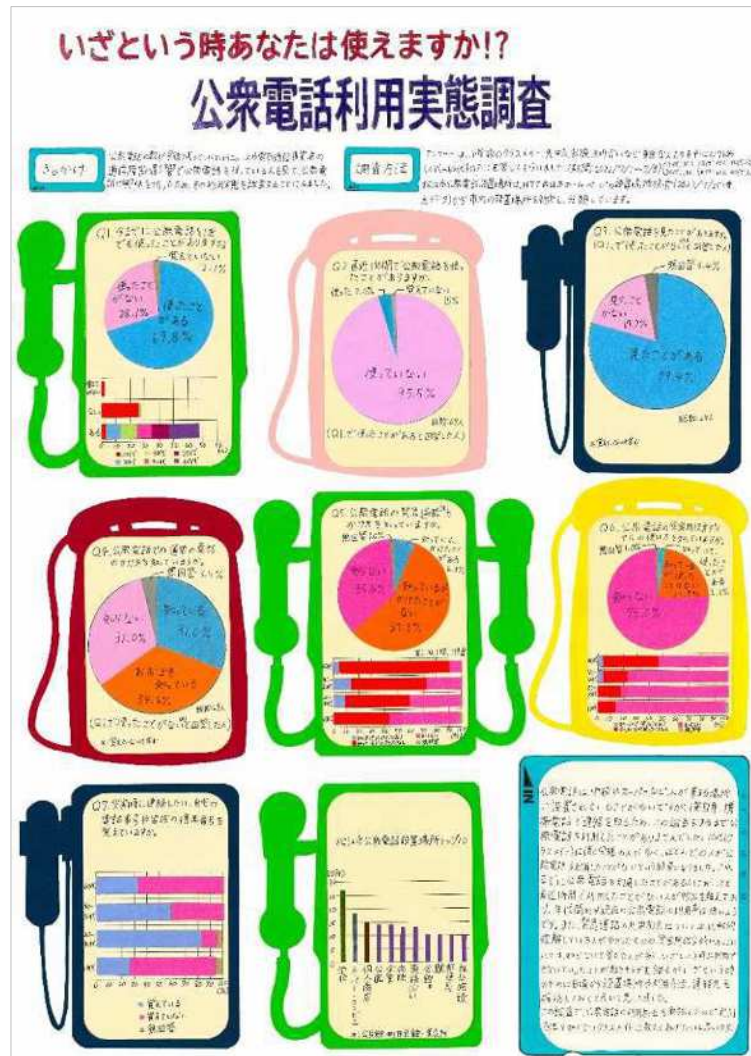
「1日のはじまり おはよう! あさごはん」
松江市立栄道小学校 4年 永原 夢乃

朝ごはんをテーマに、実際に学校で100人以上にアンケート調査を行った作品です。

鮮やかな円グラフを用いて調査結果をわかりやすく伝えていて、全体としてもとてもきれいにまとめられています。

学年別グラフからの新たな発見や、「みんなで食べたい」という作者の思いが伝わってくる作品となっています。

○第3部 特選



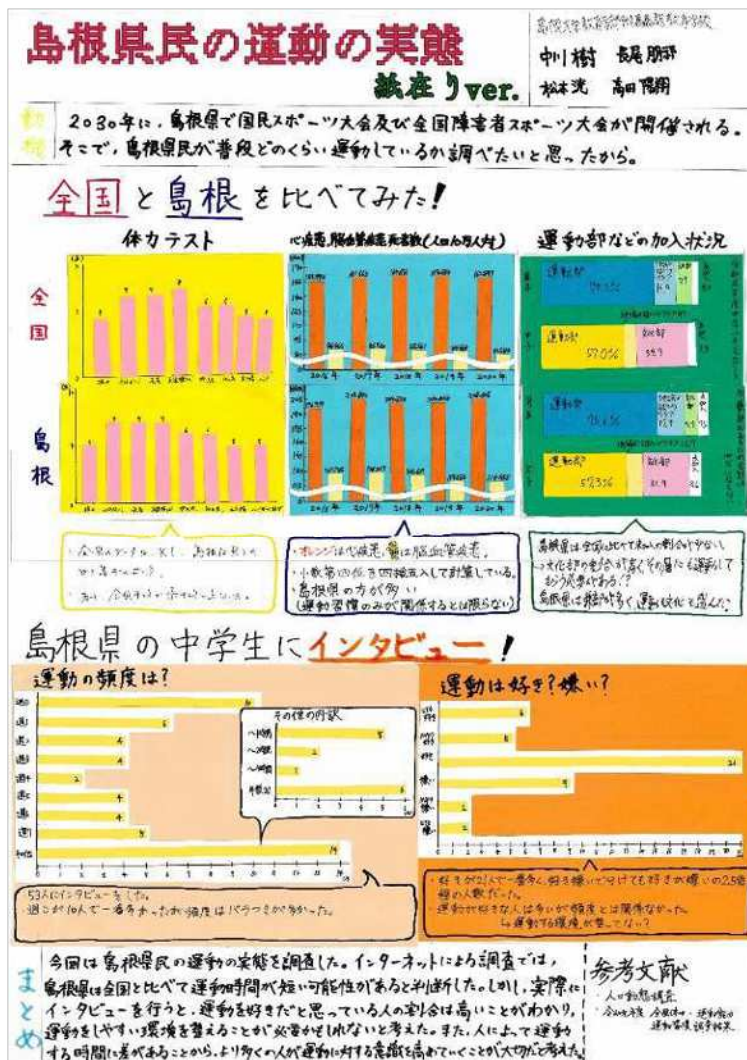
「いざという時あなたは使えますか!? 公衆電話利用実態調査」
松江市立古志原小学校 6年 米田 健

通信障害のニュース等をきっかけに、町中ではあまり見かけなくなった公衆電話をテーマに捉え、幅広い年代の方に実際にアンケート調査を行った作品です。

全体割合を円グラフで表し、年代別割合を帯グラフで表すなどグラフを的確に使い分けして調査結果を分析し、自分なりの考えをまとめている点が素晴らしいです。

また、電話機を枠として配置するなどデザインにも人目を引く工夫がされた作品です。

○第4部 特選



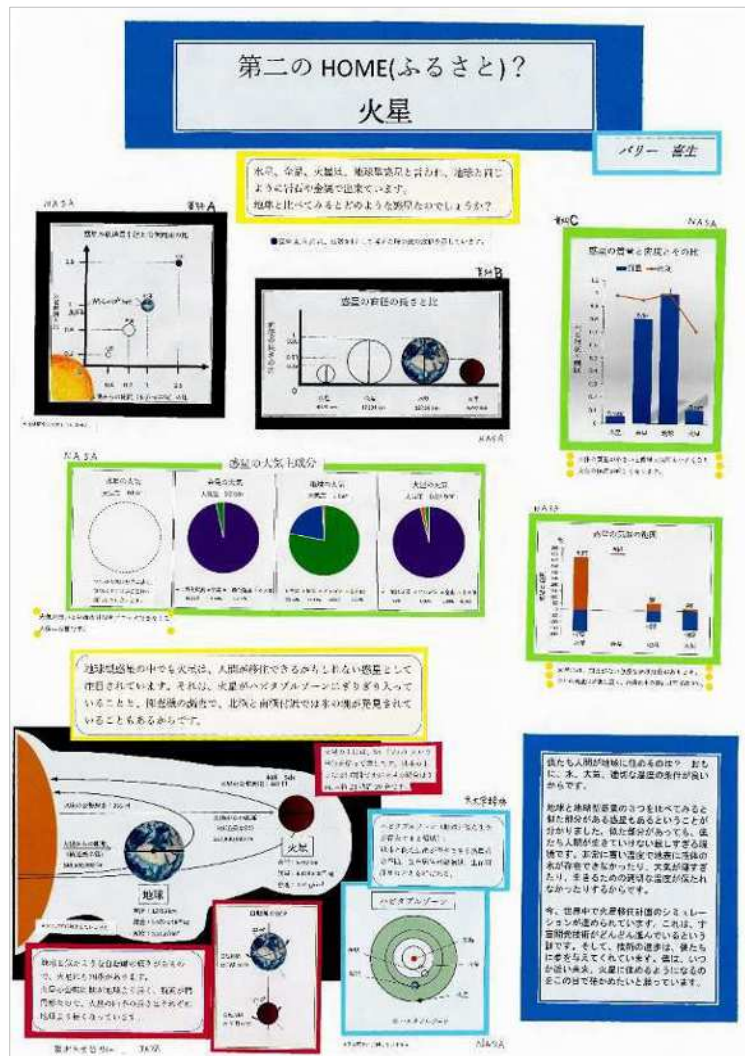
「島根県民の運動の実態 紙在り ver.」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 中川 樹、長尾 朋祁
松本 洸、高田 陽翔

島根県民の運動の実態を、体力テスト結果、健康状態、部活動状況など様々な視点から調べ、運動習慣の大切さを表現した作品です。

島根県の実態に加えて全国との比較を行っている点や、インターネットからの資料だけでなく、実際にインタビューを行い統計の検証を行っている点が素晴らしいです。

レイアウトや色合いもバランスのとれた見やすい作品となっています。



「第二の HOME(ふるさと)? 火星」
松江市立第二中学校 2年 バリー 喜生

火星への移住に思いを馳せた斬新で興味深いテーマの作品です。

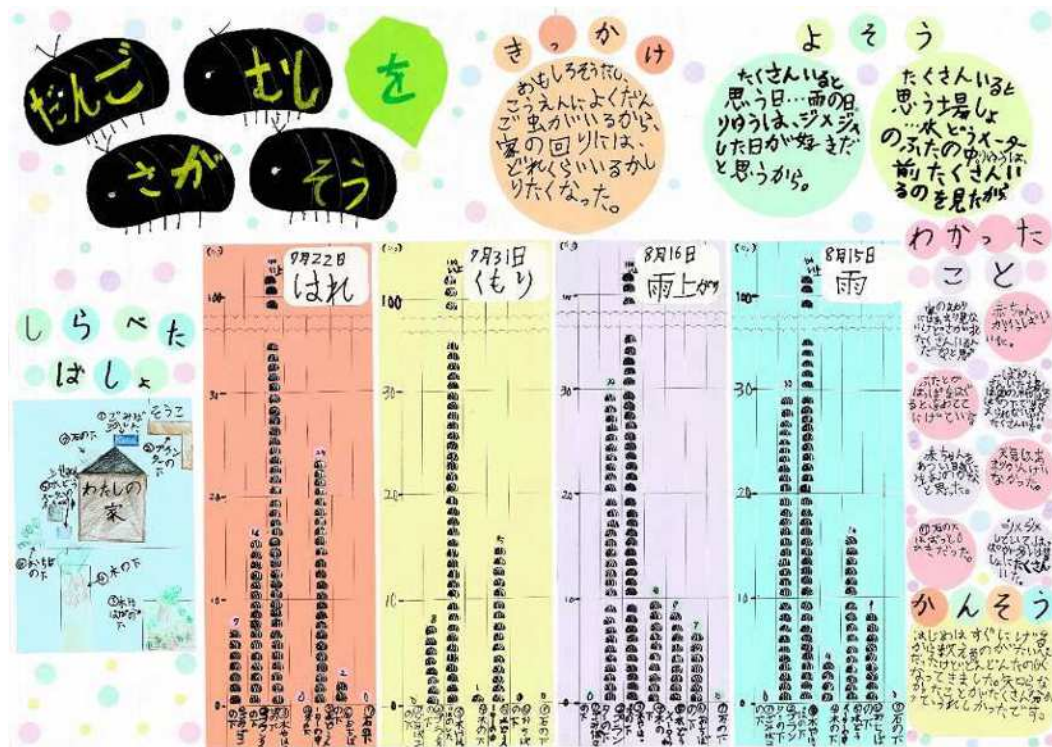
地球と他の惑星を比較し、円グラフ、棒グラフ、図を的確に用いて、多くの資料から自分の考えがまとめられています。

地球の図を使うなど、グラフの色使いも美しい作品となっています。

調べようと思ったきっかけにも触れられているとなお良いでしょう。

令和5年度島根県統計グラフコンクール 特選作品・講評

○第1部 特選



「だんごむしをさがそう」

松江市立城北小学校 2年 神田 華

公園でたくさん見かけるダンゴムシが、家の周りにどれくらいいるのかという素朴な疑問から、興味を持って予想・調査をしたユニークなテーマとなっています。

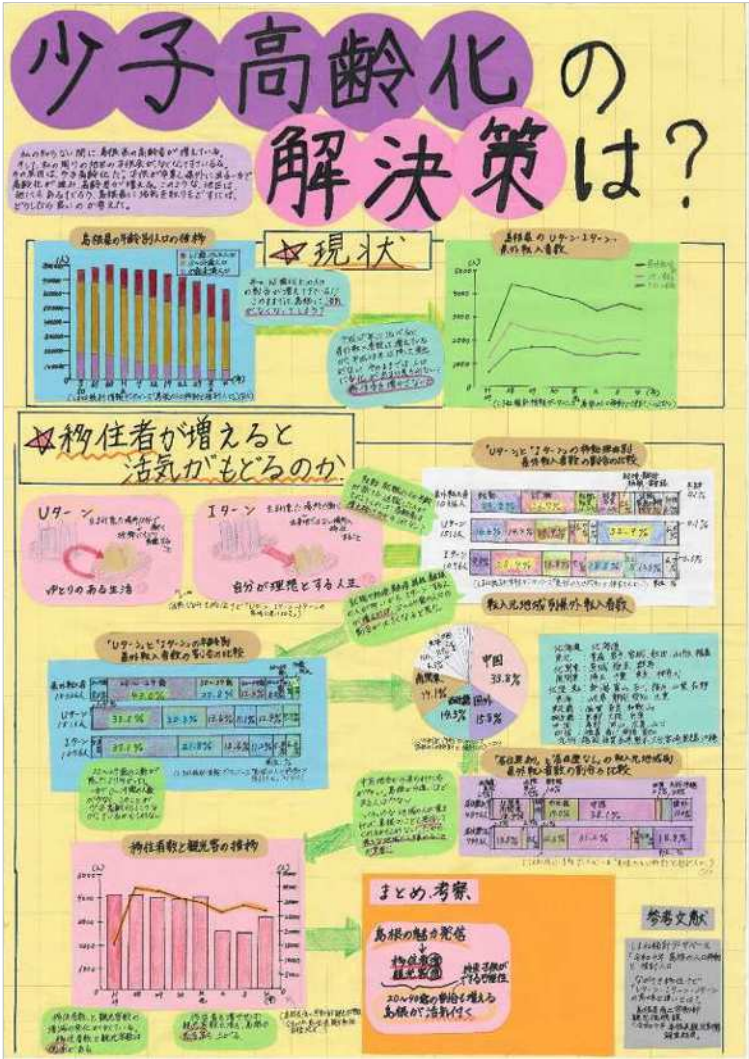
天気と場所の両面から調査することでデータに深みを持たせ、ダンゴムシを模したシールを作ってグラフにしており、丁寧で緻密な素晴らしい作品です。

○第2部 特選



「朝ごはんは、わ食!? よう食!？」
浜田市立旭小学校 3年 岡本 悠里

両親の朝食の好みから、出身地による朝食の違いを調べる着眼点が素晴らしいです。
また、テーマを絞ることにより、多彩な朝食の内容がわかりやすくまとめられています。
目を惹きつけるタイトルと、実際にアンケート調査を行い、島根県と奈良県のデータをわかりやすく並べています。
さらに、写真を使用することにより表現を工夫した作品となっています。



「少子高齢化の解決策は？」

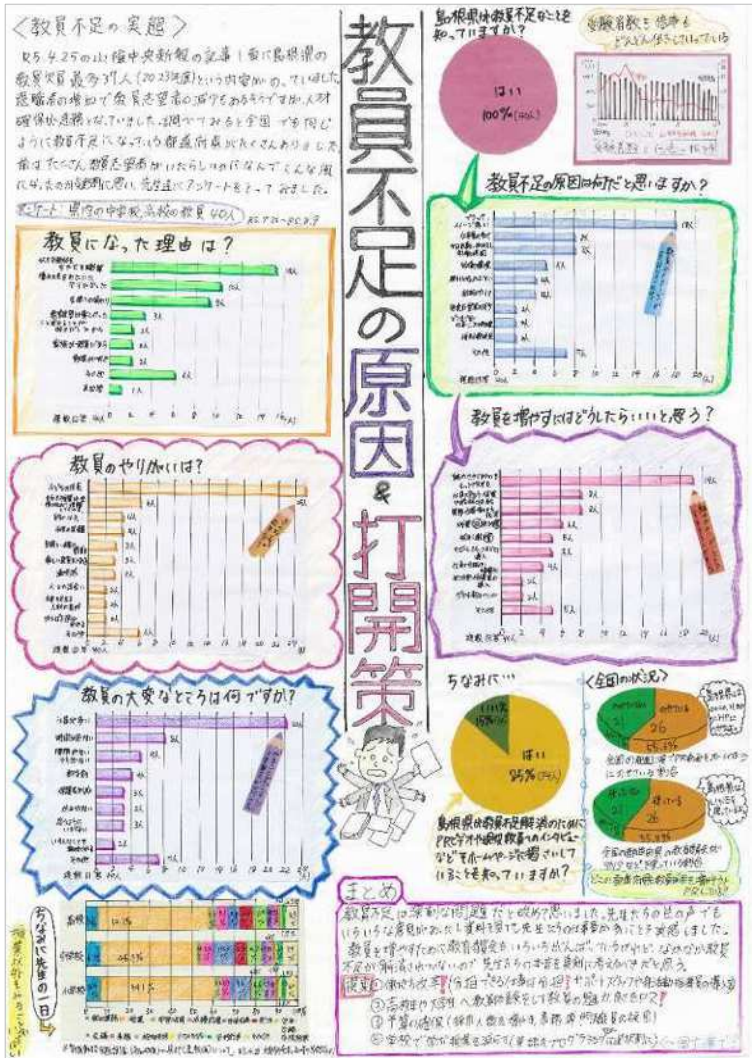
松江市立法吉小学校 6年 青山 和

島根県の課題でもある高齢化の解決策として、Uターン・Iターンの視点からだけでなく、転入者、観光客を含めて考察しようとした点が素晴らしいです。

日々の学習を活かし、情報データベースを使って多様なグラフの組み合わせを駆使している点、一つのデータの考察から次の調査テーマを決めて調べるなど全体としてストーリーのある調査がわかりやすくまとめられています。

情報量の多さと分析力からの結論の導き方、レイアウトの仕方も優れた作品となっています。

○第4部 特選



「教員不足の原因&打開策」

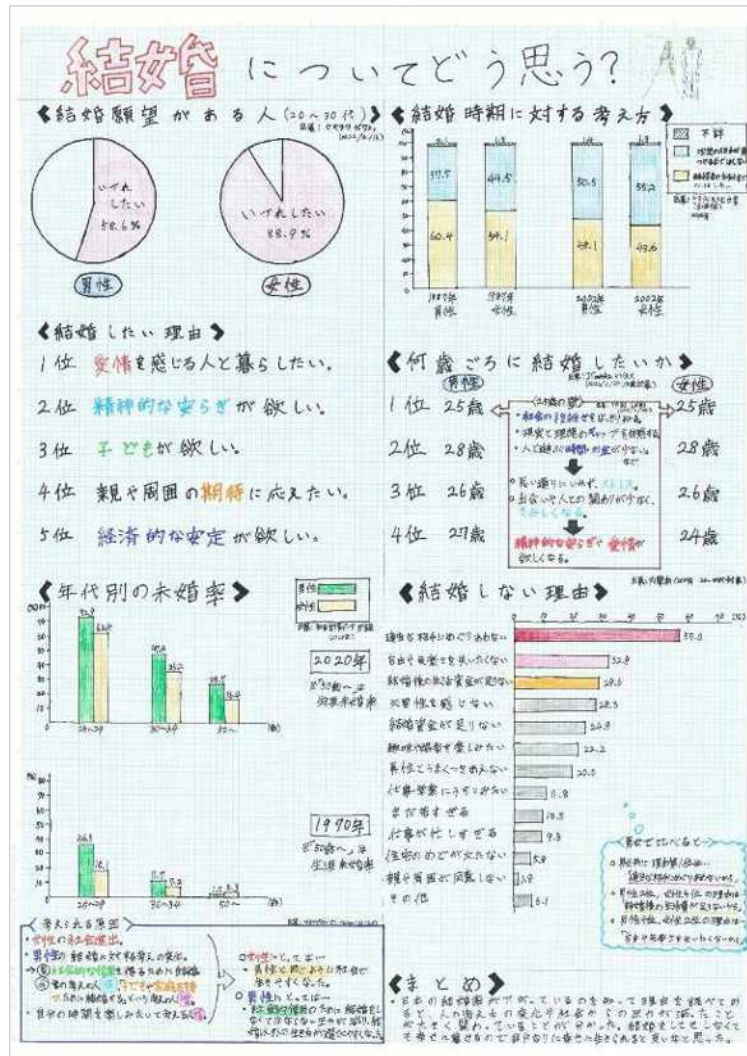
島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 2年 影山 亜胡

「教員不足」という全国的な課題をテーマにし、縦書きの見出しが新聞記事のようで斬新です。

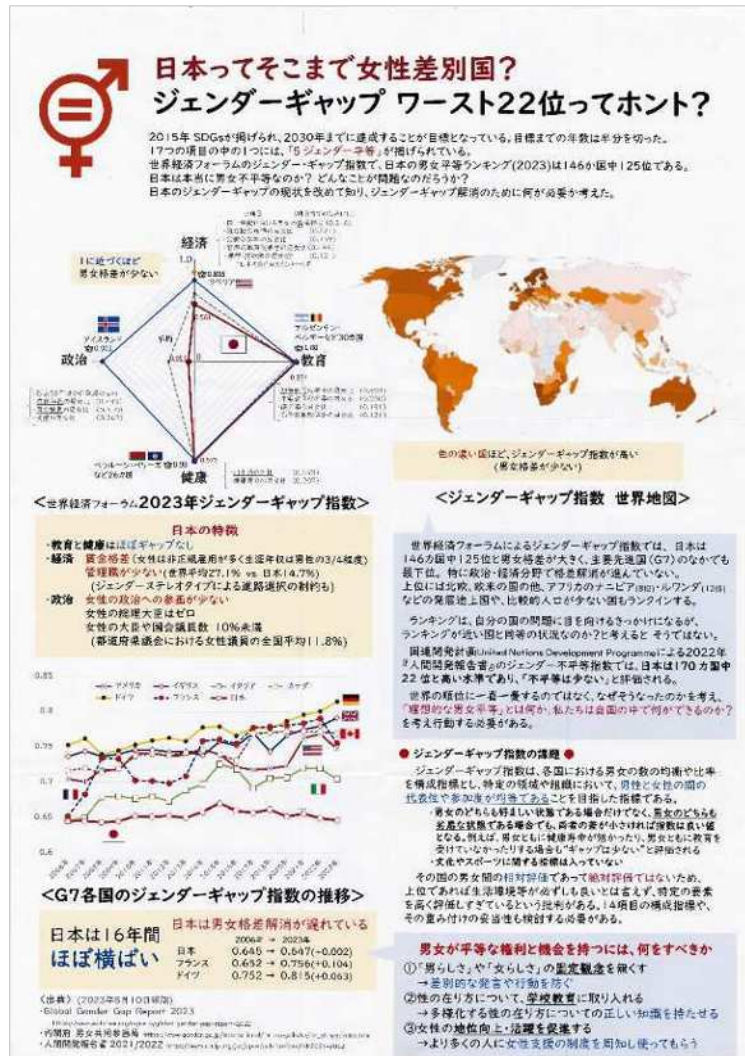
身近な先生を対象にアンケートを取り、必要なデータを様々な方向から調べて集計をしていることから、アンケート内容についてのグラフの表現と自分なりの打開策を打ち出す努力がうかがえます。

全体的にわかりやすくグラフでまとめられており、中学生ならではの効果的に表現する工夫、レイアウトの仕方が優れた作品となっています。

○第5部 特選



「結婚についてどう思う？」
島根県立横田高等学校 2年 水内 美紘



「日本ってそこまで女性差別国？

ジェンダーギャップワースト 22 位ってホント？」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 岩本 実久

着眼点、ビジュアルともに文句なしの作品です。

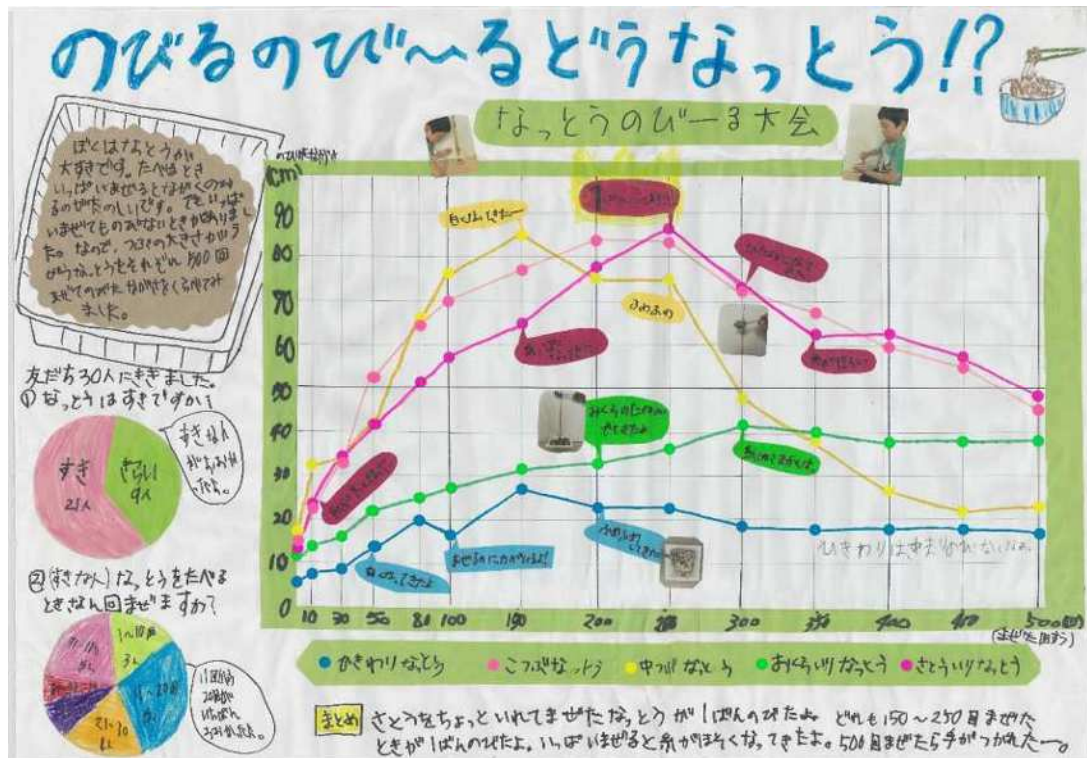
今ならではのテーマについて調査されており、サンプルデータ数、見やすさ、結論の求め方が素晴らしいです。

目を引く工夫として色、フォント使いが優れており、加えて、データをレーダーチャート、折れ線グラフ、地図グラフなどでわかりやすく表現され、パソコンの機能を駆使しています。

考察したことについて、さらに継続的に調査されることを期待したい作品です。

令和6年度島根県統計グラフコンクール 特選作品・講評

○第1部 特選



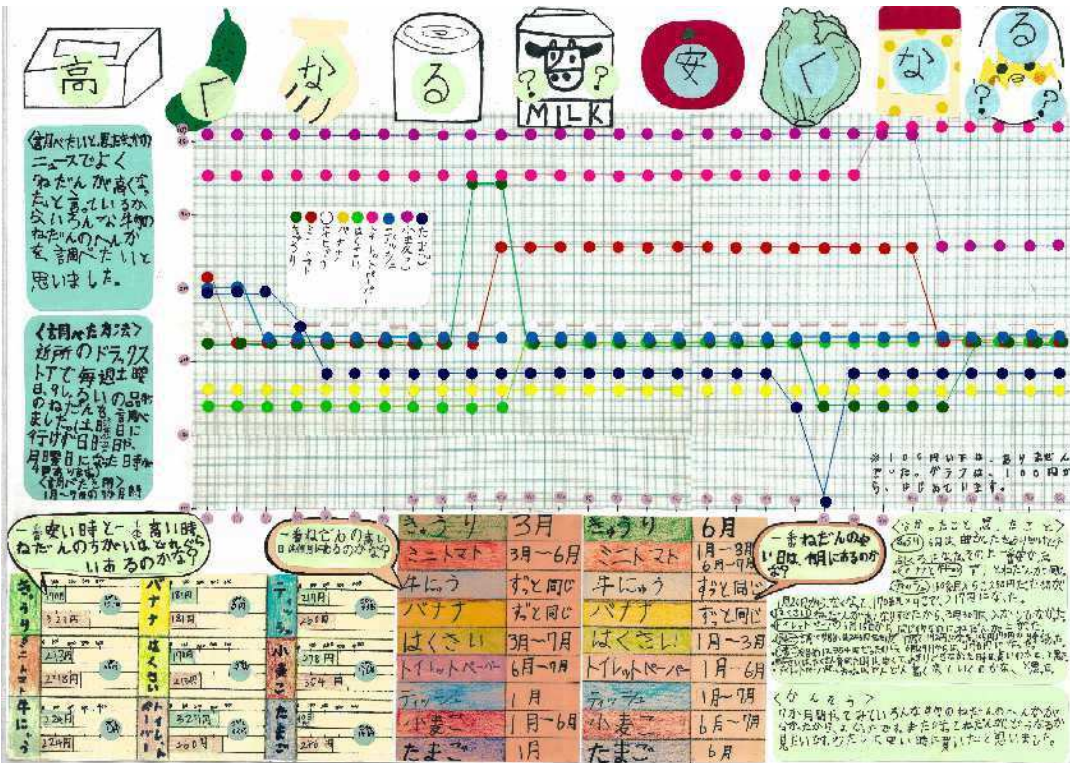
「のびるのびーるどうなっとう!？」

松江市立内中原小学校 2年 影山 敦士

自ら納豆を混ぜ、回数と混ぜたもの別の2つのアプローチからデータをまとめている子どもらしい発想の作品です。

結果もグラフとして見やすく、絵と図、色合いもきれいに表現されています。

○第2部 特選



「高くなる??安くなる??」
松江市立城北小学校 3年 神田 桃

松江市立城北小学校 3年 神田 桃

ニュースでも話題となっている物価について買い物についていく楽しみのなかで小学生の視点で切り込んでいく発想が素晴らしいです。

長期間に渡って定期的にデータを取得しており、価格の推移が一目で分かる作品となっています。

○第3部 特選



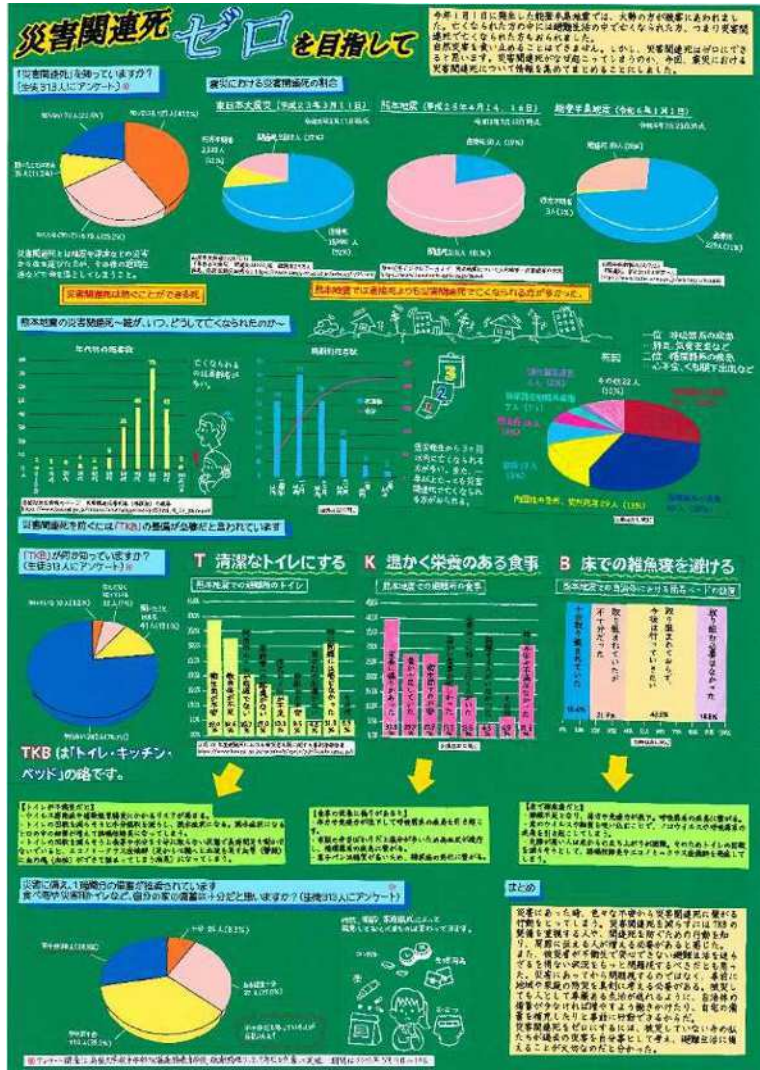
「宍道湖から夕日を見ている人はどのくらいいるの？」 松江市立乃木小学校 5年 村山 冬華

テーマが地域性に富んでおり、郷土愛が感じられます。地元の良さを数値によって確かめ、グラフで表すことで客観的に捉え、これからの松江に思いを寄せている作品です。

現地に足を運び、データを取っている姿勢がすばらしいです。

作品全体の見た目も美しく、心に入ってきてやすい好印象の作品です。

○第4部 特選



「災害関連死ゼロを目指して」

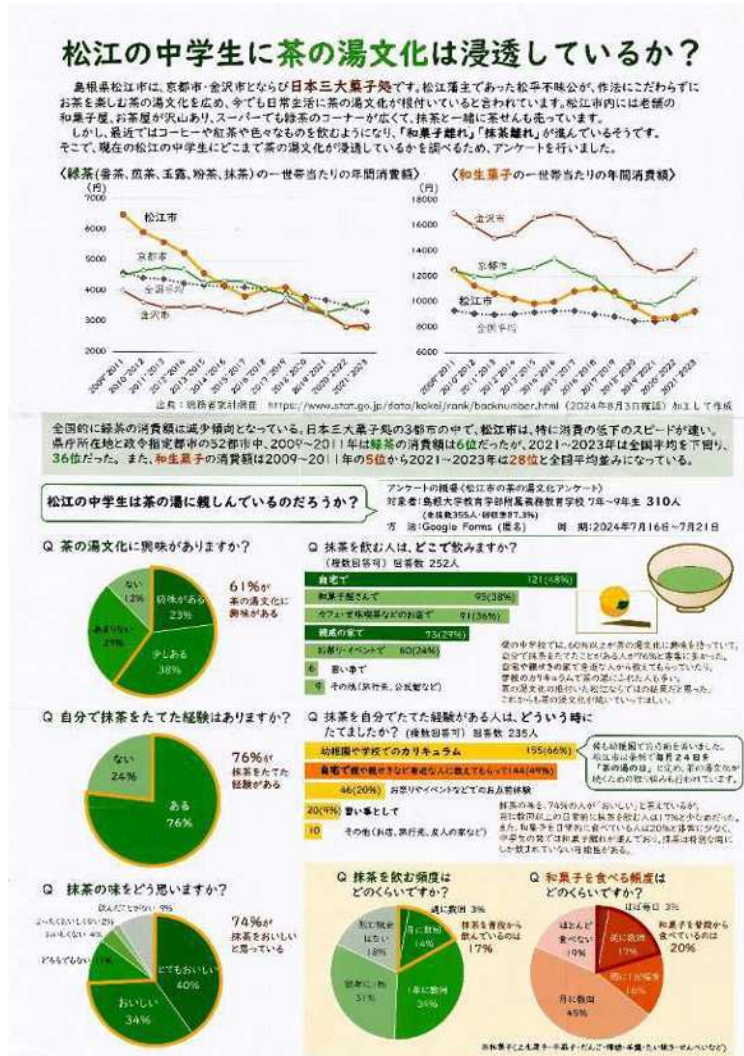
島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 片岡 睦深

緻密な紙面の構成でビジュアル的にも素晴らしいです。

グラフの意味をよく理解していて、見る人に内容が分かりやすく伝わる作品となっています。

災害発生時に注意すべきことが啓発されていて、これからの暮らしに生きる作品です。

○第5部 特選



「松江の中学生に茶の湯文化は浸透しているか？」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 1年 岩本 暖之

松江らしいテーマで一つ一つのグラフが綺麗に描けている作品です。

ICT を活用し周りの友達から生のデータを収集している点も素晴らしいです。

質問の内容等によりグラフを使い分け、見た目・色使い共に工夫されています。

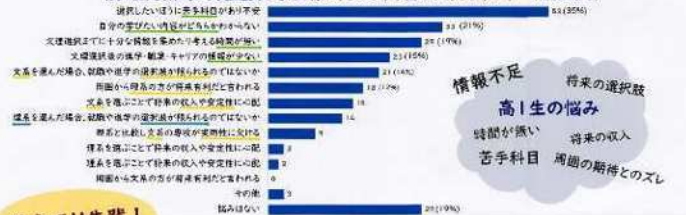
○第6部 特選

どうする？文理選択 自分の“好き”を見つけよう！

高校生の進路選択において、最初の関門は「文理選択」である。一般的に「男子は理系、女子は文系が向いている」といったイメージをもたれるが、固定観念にとらわれない、なりたい自分に近づく進路を選びたい。高1生は何に悩んでいるのか？そして、先輩方はどのように進路選択されたのか、何が影響したかを参考にしたいと思い、高校でアンケートを実施した。

※当アンケートは匿名制の調査で、すべて敬称を略す

〈高1生〉具体的に文理選択を考える際に、どのような悩みがありますか？ 〈複数回答可〉



教えて!!先輩!

〈高2・高3生（文理選択後）〉

文理選択に関するアンケート 概要

対象者と回答数：島根県立松江北高等学校生徒
1年生 153名(男52名 女100名 道通しない1名)
2・3年生 214名(79名 129名 6名)

期 間: 2024年7月7日～7月13日
方 法: Google Forms(匿名)によるWebアンケート



一般地には母音は全て約3割、子音約5割、文字2割。⇒ 全体的に一般と比較し、母音割合が多い傾向



「どうする？文理選択 自分の“好き”を見つけよう！」

島根県立松江北高等学校 1年 岩本 実久

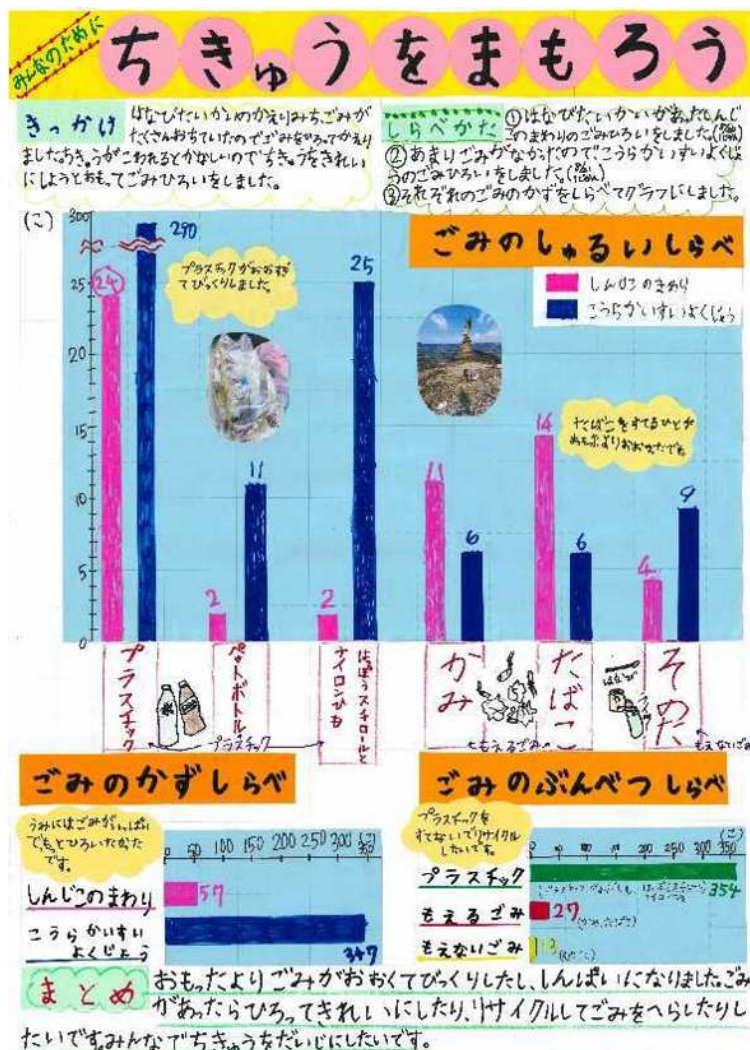
高校生らしいテーマで、他の学年にもアプローチしている点が素晴らしいです。

自分の将来を統計的に整理し、後輩へのアドバイスに繋げている点も評価できます。

未来をどう描くかという統計の良さを存分に生かした素晴らしい作品となっています。

令和7年度島根県統計グラフコンクール 特選作品講評

○第1部 特選



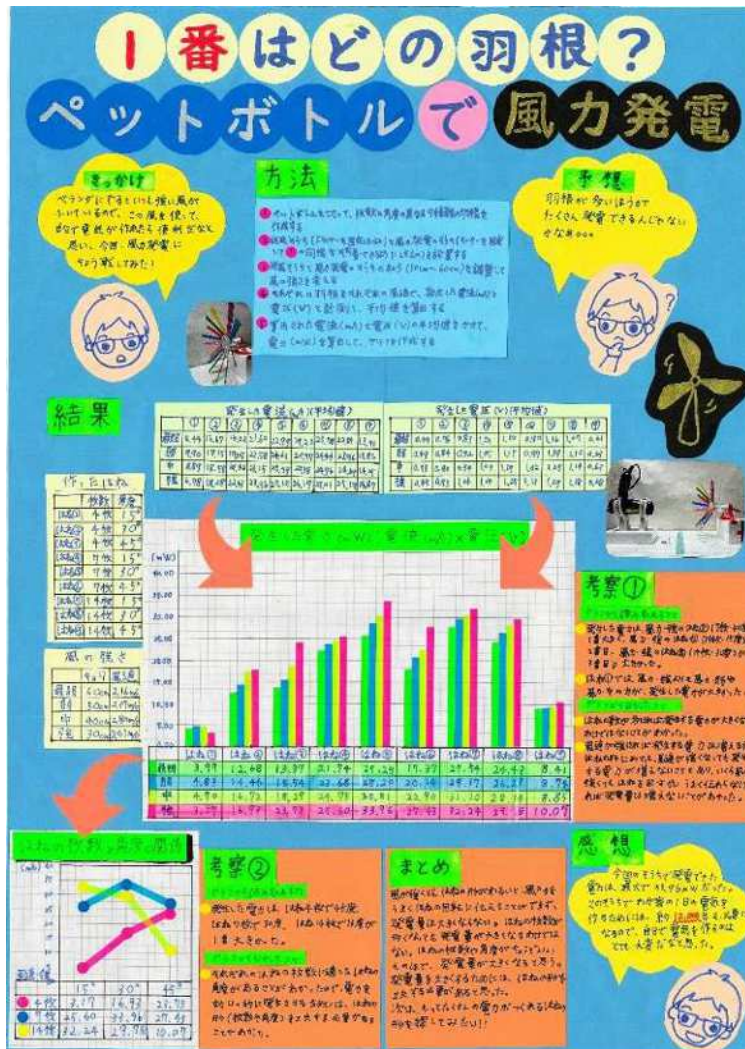
「みんなのためにちきゅうをまもろう」

松江市立津田小学校 1年 領家 千咲

ゴミ問題についての素朴な疑問から、自ら宍道湖と古浦海水浴場のゴミを拾い、分別して調査を行い、結果から気づきを得て、どう課題解決するかをまとめた素晴らしい作品です。

グラフを大きく書くことで、伝えたいメッセージが表現されています。

○第2部 特選

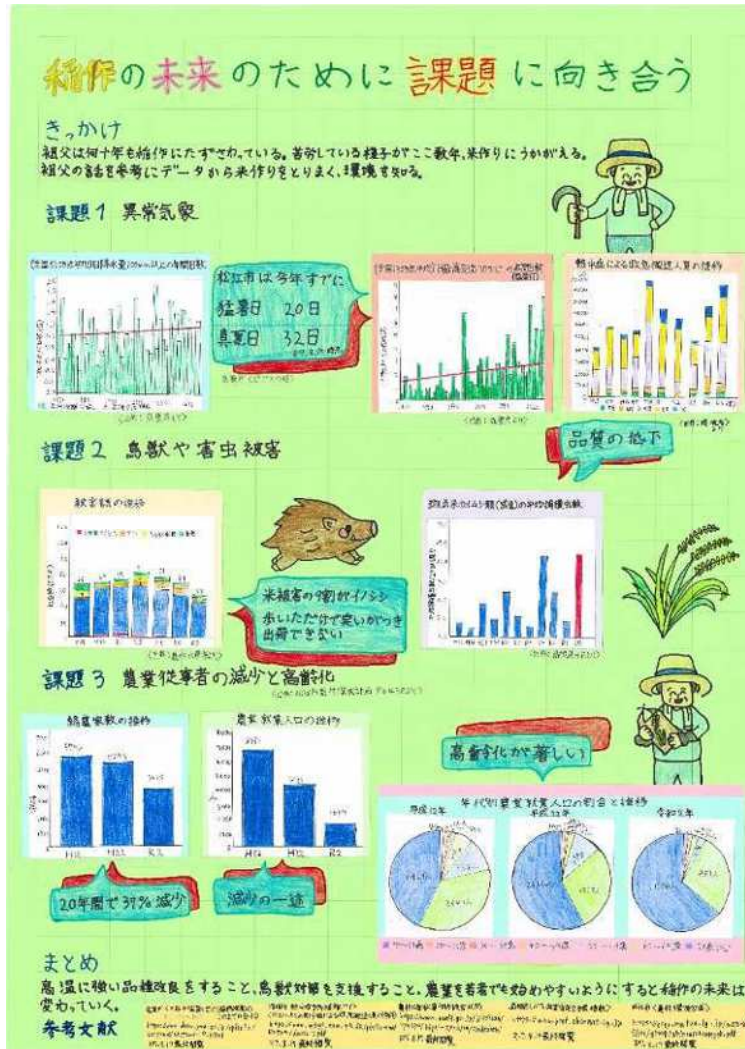


「1番はどの羽根？ペットボトルで風力発電」
島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程 4年 大西 波瑠

ペットボトルを使った風力発電について、自ら9種類の羽根を作り、角度など実験条件を変えて発電量を検証し、丁寧に分析された高く評価できる作品です。

小学校での学びの延長を感じ、見た目のデザインにもこだわった作品です。

○第3部 特選

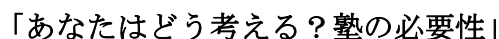


「稲作の未来のために課題に向き合う」
松江市立法吉小学校 5年 青山 陽

最近話題の米問題をテーマに稲作に従事する祖父の話から危機感を3つの視点でデータ収集し、取り組むべき対応についてよくまとめています。

稲穂や猪のイラストが添えられ、難しいテーマを親しみやすく表現した作品です。

あなたは どう考える？ **塾の必要性**



中学生ならではの身近なテーマを題材に、実際の利用状況等を調査し、塾のあり方や必要性を分析し、作者の思いが感じられるメッセージ性の高い作品です。

多くの情報を矢印で見やすく工夫し、丁寧にまとめあげています。

〇第5部 特選



島根県の実業製造業の生産性について

松江第一中学校 2年5組
山本 隼輝



①【背景】

最近物価がどんどん上がり、食品の値上げが盛んである。お菓子一つ買っても大変になってきている。インターネットで食料品の値上げについて調べてみると、原材料価格高騰、人手不足が取り上げられている。その中で、生産性という言葉をよく見かけた。食品生産性が低いと、生産者の利益が減り、働く人が減り、結果的に生活が苦しくなることがわかった。そこで、島根県の食料品製造業の生産性はどうなのを調べた。

②【目的】

- 島根県の食料品製造業の生産性の全国ランキングを明らかにする。
- 島根県と全国平均の生産性を比較する。

③【方法】

- インターネットで調べた。政府統計の総合窓口e-Statから、工業統計調査(2020年)の業別データを調べた。
- 食品製造業の生産性をみるために、食品製造業の付加価値額(売り上げから原材料、人件費、生産コストなどを引いた値)÷従業員数を計算し、労働者1人あたりの生産性を計算し、多い順から調べた。
- 同じような方法で、製菓業全体の生産性を調べた。
- この島根県の結果を全国平均と島根県とで比較した。

④【結果】

- 島根県の製造業全体の1人あたりの生産性が1044万円/人で、全国で36位だった。島根県は740万円/人で46位だった。
- 島根県の食品製造業の1人あたりの生産性が481万円/人で、全国で一番低く47位だった。島根県は681万円/人で32位だった。
- 島根県の食品製造業の従業員数は、全産業に対し13.5%で二番目に多く付加価値額は6.2%で四番目に多かった。
- 島根県の食品製造業の従業員数は、全産業に対し22.8%で一番目に多く付加価値額は20.8%で一番目に多かった。




県	産業	生産性	順位	島根の生産性を1とした場合
島根	製造業全体	1044万円/人	36位	1.00倍
	食品製造業	481万円/人	47位	1.00倍
鳥取	製造業全体	740万円/人	46位	1.41倍
	食品製造業	681万円/人	32位	1.41倍
全国	製造業全体	1299万円/人	17位と18位の間	1.89倍
	食品製造業	908万円/人	18位と19位の間	1.89倍



県	従業員数	生産性の順位	1人あたりの賃金	1人あたりの賃金の順位	1人あたりの賃金の順位
島根	481万人/人	236万人/人	236万人/人	47位	47位
鳥取	681万人/人	236万人/人	236万人/人	47位	47位
全国	908万人/人	300万人/人	300万人/人	47位	47位



県	従業員数	生産性の順位	1人あたりの賃金	1人あたりの賃金の順位	1人あたりの賃金の順位
島根	481万人/人	236万人/人	236万人/人	47位	47位
鳥取	681万人/人	236万人/人	236万人/人	47位	47位
全国	908万人/人	300万人/人	300万人/人	47位	47位



⑤【考察】

- 島根県の食品製造業における従業員1人あたりの生産性(付加価値額÷従業員数)の順位結果を見ると、鳥取県より高いのに、島根県の食品製造業における生産性は最下位だった。
- 鳥取県の食品製造業における従業員1人あたりの生産性(付加価値額÷従業員数)の順位結果を見ると、鳥取県は2位と4位だった。1人あたりの給与も全国最下位だった。ことから、島根県の食品製造業に勤めている人が多いのにもかかわらず低いと考えられる。
- 鳥取県と島根県は、物産や伝統産業が近いのにこれだけの差が生じるのはおかしいと思った。何が違うのかは調べていきたいと思った。
- 食料品製造業の生産性を高める支援をみんなできなくさんしなくていい。
- もっと島根県のものを買って応援しようと思った。

「島根県の実業製造業の生産性について」 松江市立第一中学校 2年 山本 隼輝

食品の写真を3か所に配置し、見た目も工夫した作品です。

隣県や全国と比較することで食品製造業の実情や課題を明確にし、統計分析を丁寧に行い、深く考察された評価のできる作品です。

〇第6部 特選



「電気代を安くすることはできるのか」

島根県立松江南高等学校 1年 原 壮良

圧倒的なビジュアルと完成度の高さに目を奪われるような作品です。

膨大な資料を様々な視点から分析し、再生可能エネルギー導入の現状や課題を浮き彫りにし、「電気地産地消」の提案に導く素晴らしい作品です。